

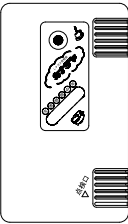
品名：**カナリヤ**

液化石油ガス警報器
取扱説明書(保証書付)

「高圧ガス保安協会」 検定合格品

型式：KTS-P140B (外部出力端子付)

●この警報器**（カナリヤ）**は、液化石油ガス（LPガス・プロパンガス）専用ガス警報器です。
（以下、警報器と称します）都市ガスには、都市ガス用警報器をご使用ください。
●ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく使用いただくとともに、ガス事故防止のために、ガスの取扱いには一層のご注意をお願いします。
●この説明書には保証書が付いていますので取付け後も大切に保管してください。



※この警報器をご使用になる際、付属の点検ガスで作動テストを行い、警報ブザー音が自分の耳で聞き取れるか必ず確認してください。

⚠ **警告**

①この警報器は、不完全燃焼および酸素欠乏による中毒防止用ではありません。
②この警報器は、浴室では絶対にご使用にならないでください。（漏電、感電の恐れがあります）

●販売店名（連絡先）

（販売店の名称・連絡先・住所・電話・FAX等を記入してください）

発売元：**アズビル金門株式会社**
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号

液化石油ガス用ガス警報器

保 証 書

品名 **カナリヤ** 型式 KTS-P140B

このたびはガス警報器をお求めいただき誠にありがとうございました。
この製品は高圧ガス保安協会検定に合格したものです。
従って正常な使用状態では故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。
次の要領で下記の者が点検または交換いたします。
・保証期間 警報器本体正面の交換期限表示部に記載された期限内
・保証適用 取扱説明書に基づく正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。
・保証適用除外 裏面に記載してある事項の場合※
・保守点検 警報器の異常等のお申出がありました際は無償で次の保守点検を行います。
（1）標準点検ガス又は点検具（チェッカー）を使用しての作動テスト
（2）誤報発生の有無の確認（聴取による）
（3）設置場所の適否についての確認

（実施者）
販売店

〒 TEL
（販売店は必ず記入してください）

（保証者）
発売元

アズビル金門株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
QA9P2792 2023.7.1 K

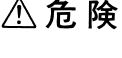

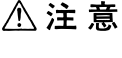





も く じ

＜警報器をご使用になる皆様へ＞（頁）
① 安全に正しくお使いいただくために 1
② 安全のために必ずお守りください..... 2～4
A：ガスもれにより警報ブザーが鳴ったときは
あわてず次の処置をしてください 2
B：ご使用上の注意事項..... 3・4
C：殺虫剤やペンキなどで警報ブザーが鳴った場合..... 4
③ 警報器の取扱い方法 5
④ 警報器の点検方法 6
⑤ 交換期限 7
⑥ アフターサービスについて 7
⑦ 警報器のお手入れ方法 8
⑧ 警報表示 9
＜販売店及び警報器をご使用になる皆様へ＞
⑨ 各部の名称と働き10
⑩ 仕様・付属品・オプション11・12
⑪ 取付位置.....12・13
⑫ 取付方法.....14・15
⑬ 外部機器との接続方法.....16・17
⑭ 接続できる外部機器（型式）17
⑮ 簡易点検18
⑯ 保証書・警告表示ステッカーへ貴店名の記入19
⑰ お客様への説明19
⑱ 保管及び廃棄について19
製品サポートセンター連絡先20

＜警報器をご使用になる皆様へ＞

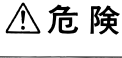
① 安全に正しくお使いいただくために

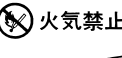
警報器を正しくお使いいただくため、またお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

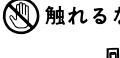
表 示	意 味
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
	一般的な禁止
	火気禁止
	触れるな
	分解禁止
	必ず行


② 安全のために必ずお守りください

A：ガスもれにより警報ブザーが鳴ったときは、あわてず次の処置をしてください


 **危険** 火花などにより爆発の恐れがありますので次のことは絶対にしないでください。


① マッチ、ライターなど火気は使用しない。



② 電気製品、換気扇、扇風機などのスイッチに絶対触れない。



③ 電源プラグの抜き差しはしない。


①まず、火を消してガス栓（元栓）を閉め
てください。
②ドアや窓を静かに開けて自然換気をしてください。もれたガスは空気より重い
ため、室内の下の方にたまっていま
すので、空気が流れるようにドアや窓
を開けてください。
③ガスがなくなれば、警報ブザーは自動
的に鳴りやみますので、鳴りやんでから
ガスもれの箇所を点検してください。
注）ガスもれの原因として、点火ミス、
立ち消え、器具栓が完全に閉まってい
ないことや、ゴム管のひび割れ等が考
えられます。
④警報ブザーが鳴りやまないとき、また
は、警報ブザーが鳴りやんでもガスも
れ箇所がわからないときは、ただちに
販売店に連絡してください。

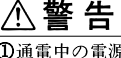
①閉める


①自然換気
する


①調べる


①連絡する


B：ご使用上の注意事項

 **警告**

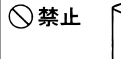
①通電中の電源コードは切断しないでくだ
さい。また電源コードを傷付けたり、加
工したり、無理に曲げたり、引っ張った
り、ねじったり、重い物を載せたり、は
さみ込んだりしないでください。（感電す
る恐れがあります）

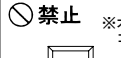
②予備コンセントにビンや針金などの金属
物や、異物を入れないでください。
（感電する恐れがあります）
※オプションのコンセントカバーを使用す
ることにより、思いがけない事故による感
電やショートなどを防いでくれます。
（誤飲する恐れのある場合は使用しないこと）

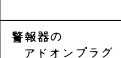
③警報器以外の電気製品の電源を同じコン
セントからとる場合は、警報器の電源プ
ラグの予備コンセント（アドオンプラグ）
をご利用ください。ただし、接続できる
電気製品の消費電力は、交流100Vで
1490W以下です。1490Wを超えると電源
プラグ及び電源コードが焼損し、火災発
生の恐れがあります。また、接続した電
気製品の電源プラグが確実に差し込まれ
ていない場合も、発熱し火災の原因にな
ります。※ショートコード（長さ約35cm）
には予備コンセントはありません。


④警報器の電源プラグは常に通電している
交流100V専用コンセントに接続し、電源
プラグを抜かないでください。（抜くとガ
スがもれていても警報しません）

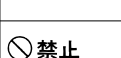
⑤警報器は絶対に分解改造しないでくださ
い。また、落下させたり衝撃を与えるよ
うな取扱いしないでください。（故障の
原因となります）

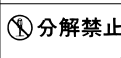
①禁止


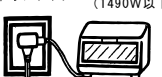
①禁止
※オプションの
コンセントカバー



①禁止


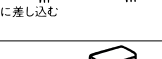
①禁止


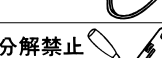
①禁止



①分解禁止


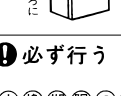
警報器の
アドオンプラグ


他の電気製品
（1490W以下）


①禁止


①禁止


①必ず行


①必ず行
交換期限の年
○○○○年


⑥警報器の前に物を置いたり、取付けたり
しないでください。（警報しない場合があ
ります）

⑦警報器の取付位置を移動させないでくだ
さい。取付位置を変える必要が生じた場
合は、販売店に依頼してください。

⚠ **注意**

①警告表示ステッカー「警報器が鳴ったら」を
よくお読みのうえ、警告表示ステッカーは必
ず目につく場所に貼ってください。また、警告
表示ステッカーに緊急時の連絡先の名称
（販売店名など）・電話番号が記入されてい
るか確かめてください。

②警報器の交換期限が過ぎていないか確認
してください。交換期限が過ぎたものは
保証致しかねますので、必ず新しい警報
器にお取り替えください。
（交換期限は西暦で表示しております）

⚠ **注意**

ガスもれ以外でも次のような場合、警報ブザーが鳴ることが
ありますが、すぐ鳴りやみまずので警報器の電源プラグは抜
かないでください。（不具合の原因となりますので、ドアや窓
を開け、自然換気を十分に行ってください）

①殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで
使用したとき
②シンナー・ペンキなど可燃性の溶剤や塗料を警報
器の近くで使用したとき
③ミリン、しょう油、ワイン、酒などの濃い蒸気がか
かったとき
④濃厚なタバコの煙などがかったとき

③ 警報器の取扱い方法

①電源プラグをコンセントに差し込む。
表示ランプ（赤）が点滅している間（約40
秒間）は、警報器が作動状態に入る準備タ
イムです。この40秒間は、ガスがかかっ
ても警報ブザーは鳴りません。（停電復帰
時も同様です）

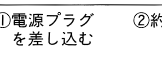
②約40秒後表示ランプ（赤）点滅が点灯に変わ
り、常時ガスもれ検知可能な状態となります。
※簡易点検についてはP18を参照ください。


③ガスもれを検知すると、表示ランプ（赤）
が点滅に変わり、警報ブザーが鳴ります。
※ガスがなくなると、警報ブザーが鳴り
やんで②の状態に戻ります。

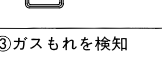
④警報器が戸外ブザー・集中監視型・しゃ断
弁コントローラ・ACUシステムなどに接続さ
れている場合、警報ブザーが鳴ると同時に
信号（6V→12V）を出力します。（戸外ブ
ザー・集中監視型・しゃ断弁コントローラ・
ACUシステムなどの取扱いについては、販
売店へ問い合わせるか各機器の取扱説明
書をご覧ください）（有電圧出力）


⑤マイコンメータと接続されている場合
警報ブザーが約40秒間連続して鳴ると、
マイコンメータでガスを検知します。
ガスをしゃ断すると、マイコンメータの
表示ランプ（赤）が点滅または、ⒷⒸの表
示が点灯します。（●警報表示を参照し
てください）
（フォトカブラ・オープンコレクタ出力）


※停電時はガスもれを検知しません。
※警報器本体は多少暖かくなりますが、異常ではありません。
※日常、警報器が作動状態にあることを示す表示ランプ（赤）が
点灯していることを確認してください。


①電源プラグをコンセントに差し込む


②約40秒後
点灯


③ガスもれを検知


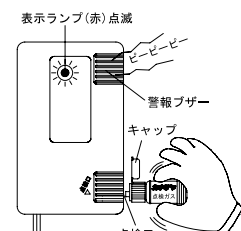
④有電圧信号を出力（6V→12V）


⑤ガスをしゃ断（止める）
（フォトカブラ・オープンコレクタ出力）
（表示は2種類あります）


⑥マイコンメータ
ガス止


④ 警報器の点検方法

次の方法で月1回程度点検してください。
①表示ランプ（赤）が点灯していることを確か
めてください。
②付属の点検ガスのキャップを開け、先端を
警報器の点検口に当ててください。
③点検ガスの容器を2～3回指で強くつまん
でガスを吹きつけてください。
④表示ランプ（赤）が点滅に変わり、警報ブ
ザーが鳴ります。点検ガスの吹きかけをやめ
ガスがなくなると表示ランプ（赤）の点滅が
点灯に変わり、警報ブザーも鳴りやみます。
⑤点検ガスを吹きつけても、警報ブザーが鳴
らないなどのときは、●アフターサービス
についてをお読みください。
⑥点検ガスは蒸発しやすいので、使用後は点
検ガスのキャップをしっかり閉めてください。
⑦点検ガスを警報器本体の近くの目に付きや
すいところに保管してください。
※販売店は2年に1回点検してください。



表示ランプ（赤）点滅
警報ブザー
キャップ
点検口

⑤ 交換期限

この警報器の交換期限は、本体正面の「交換期限表示部」に記載されています。
交換期限が過ぎたものは保証いたしかねますので、必ず新しい警報器とお取替
ください。
●交換期限表示部の見方
交換期限表示部の記載例（西暦2030年までの例）
交換期限の年
2030年
※交換期限の表示は、西暦で記載してあります。

⑥ アフターサービスについて

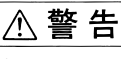
①点検を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、次の点検と処
置をしていただき、なお異常があるときは販売店にお申しつけください。

症 状	原 因	処 置
表示ランプ（赤）が 点灯していない	・電源プラグがはずれている ・停電 ・電源ブレーカーが切れている	電源プラグをコンセントに差し込む 電源ブレーカーを入れる
点検ガスで警報ブ ザーが鳴らない	・点検口を間違えている ・点検ガス容器内に固形物（青 色）がない	正しい位置で点検 新しい点検ガスを販売店で買い 求める
ガスもれの様子 がないに警報ブ ザーが鳴った	・近くでスプレー、殺虫剤、ペン キ、シンナーなどを使用 ・酒、みりんなどの濃い蒸気がか かった ・濃厚なタバコの煙などがかった	ドアや窓を開け自然換気する

②万一異常が生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、添付の保証書をご提
示ください。保証書の記載内容に基づき販売店で点検または交換いたしま
す。

⑦ 警報器のお手入れ方法

①必ず行 お手入れする前に販売店へご連絡ください。


 **警告**


①お手入れの際は、必ず電源プラグをか
いた手で持ちコンセントから抜いてくだ
さい。ぬれた手で抜き差ししないでくだ
さい。（感電やけがの恐れがあります）

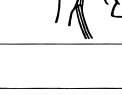
②電源プラグの刃および刃の取り付け面の
ゴミやホコリをかいた布でよくふいて
ください。トラッキング現象により火災
の原因になります。（トラッキングとは、プ
ラグの刃の間にたまったゴミやホコリが長い
間に炭化し、通電・発火する現象です）


③警報器の表面が汚れた場合、水または石
けん水を使った布をよく絞ってからふき
とってください。ふき終わったら電源プ
ラグを入れ、●警報器の点検方法にした
がって動作の確認をしてください。（内部
に水が浸入しないよう注意してください）
※中性洗剤を使ったときは、しばらく警報
ブザーが鳴りやまないときがあります。

④ベンジン・シンナーなどの薬剤はご使用
にならないでください。警報器本体の表
面が傷ついたり、故障の原因となります。

①抜く


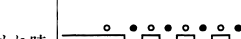
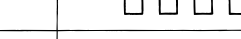



①必ず行


①必ず行


①禁止


⑧ 警報表示

この警報器は、アンサー出力が有るマイコンメータと接続している場合、ガ
スもれを検知するとマイコンメータでガスをしゃ断し、状態に応じて次のよ
うな警報表示をします。ただし、マイコンメータと接続していない場合は、
ガスもれ時のみ警報ブザーが鳴ります。
※アンサー出力が有るマイコンメータとはマイコンメータの状態を警報器に知らせる機能を持
ったメータのことです。

状 態	警 報 器 表示ランプ（赤）	警 報 器 警報ブザー	マイコンメータ 表 示
作動状態	点 灯	—	—
ガスもれ時		「ビー」「ビー」 （連続）	—
マイコンメータ ガス しゃ断予告		「ピッ」間欠音 （5秒以上の間隔）	—
マイコンメータ ガス しゃ断中		「ピッ」「ピッ」 間欠音 （約10秒間隔）	1 2 3 ● ● ● ⑧ ⑨ ガス止
マイコンメータ ガス 安全確認中		「ピッ」「ピッ」「ピッ」 間欠音 （約5秒間隔で 1～2分間）	1 2 3 ● ● ● ⑧ ⑨ ガス止
マイコンメータ ガス使用可		「ビー」 間欠音 （3回終了）	—

●消灯（警報ブザー音と連動）
○点灯

注）マイコンメータのガスしゃ断（ガス止）の復帰方法や取扱いについては、販売店へ
問い合わせるかマイコンメータの取扱説明書・操作タグをご覧ください。

－ 5 －

－ 6 －

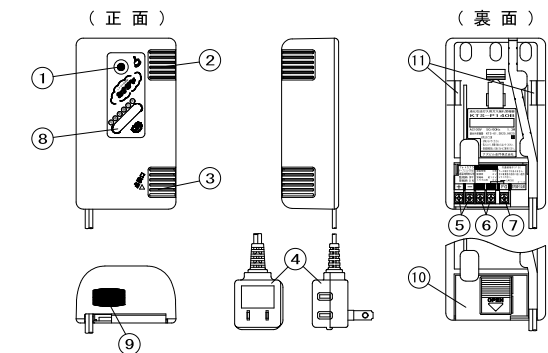
－ 7 －

－ 8 －

－ 9 －

◀販売店及び警報器をご使用になる皆様へ▶

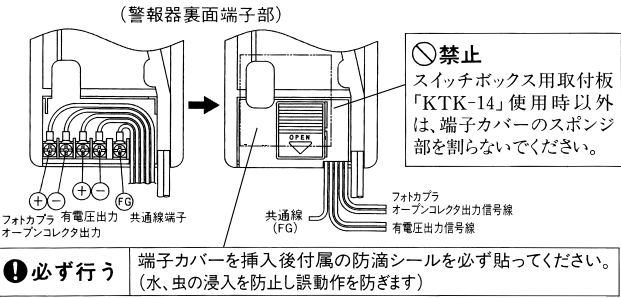
9 各部の名称と働き



- ①表示ランプ(赤)……電源を入ると点滅します。
約40秒後に点灯に変わります。
ガスを検知しガス濃度が警報設定値に達すると点滅します。
- ②警報ブザー部……ガスを検知しガス濃度が警報設定値に達すると「ピーピーピー」 とブザー音が鳴ります。
- ③ガス検知部……ガスを検知します。また点検時のガス注入口となります。
- ④電源プラグ……予備コンセント(アドオンプラグ)は交流100Vで消費電力1490W以下の電気製品に使用できます。
※ショートコード(長さ約35cm)には予備コンセントはありません。
- ⑤外部出力端子1……マイコンメータ等と接続するときに使用します。
(フォトカブラ・オープンコレクタ出力)
- ⑥外部出力端子2……戸外ブザー・集中監視盤・しゃ断弁コントローラ・ACUシステム等と接続するときに使用します。(有電圧出力)
- ⑦共通線端子(FG)……マイコンメータ等のFG端子に接続するときに使用します。
- ⑧交換期限表示部……交換期限が記載されています。
- ⑨検定合格証……高圧ガス保安協会の合格シールです。
- ⑩端子カバー………出力端子を保護します。
- ⑪取付金具引掛け部…取付金具のフックを引掛ける溝孔です。
※警報設定値：液化石油ガス(LPガス・プロパンガス)の爆発下限界濃度の1/100以上1/4以下です。
※爆発下限界濃度：ガスが空気中に混ざり熱や火によって爆発する最小のガス濃度のことです。

10 仕様・付属品・オプション

仕 様		
型 式	KTS-P140B	
対 象 ガ ス	液化石油ガス(LPガス・プロパンガス)	
警 報 ガ ス 濃 度 (警報設定値)	爆発下限界濃度の1/100以上1/4以下 (0.45%以下)	
警 報 方 式	即時警報型自動復帰式	
ガス漏れ警報・表示	圧電ブザー断続音70dB(1mにて)以上 表示ランプ(赤)点滅	
応 答 速 度	30秒以内	
通電初期警報防止 回路の作動時間	電源通電後及び停電復帰後約40秒間	
外 部 入 力	アンサー出力が有るマイコンメータと接続することによりしゃ断状態等を警報表示	
外 部 出 力		フォトカブラ オープンコレクタ出力
	遅 延 時 間	約42秒
	監視時(通常時)	OFF
	警 報 時	ON
	電 源 断 時	OFF
検 知 方 式	共通線端子(FG)付	
	接触燃焼式	
電 源	交流100V±10% 50/60Hz	
消 費 電 力	1.3W	
使用温度範囲	-10～+40℃	
外 形 寸 法	高さ120×幅70×奥行40(mm)	
質 量 (重 量)	約260g	
電 源 コ ー ド	長さ約2.5m(予備コンセント付プラグ) または約35cm(予備コンセントプラグなし)	



①必ず行う	端子カバーを挿入後付属の防滴シールを必ず貼ってください。 (水、虫の浸入を防止し誤動作を防ぎます)
-------	--

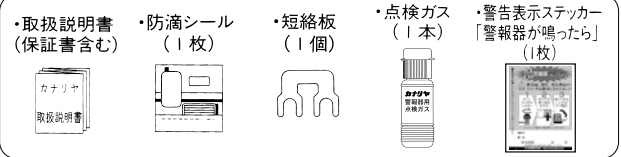
信 号 線 (マイコンメータと接続の場合)	心数×断面積 長さ	3C×0.5 ² 以上 30m以内
工具は④ドライバー(中)をご使用ください。		
警報器とマイコンメータの接続は1対1にしてください。		

14 接続できる外部機器(型式)

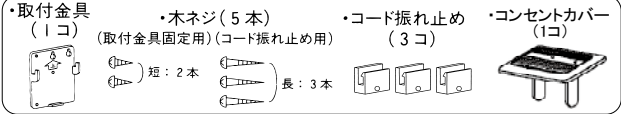
詳しい説明はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

- ①アンサー出力付マイコンメータ
 - SK25 ●HK25
 - PK-III 200A・212A・242A・252A・252D
 - および 500A・704A・714A・754A
 - PS-III 754D・904A・954A
 - MGN□PO・MGN(L)□P1・MGN(L)□P3(□はメータの号数を表します)
- ②マイコンメータ
 - PK-III 212・252・754・272・772・804・854
 - PS-III 754・212・252
- ③セーフティメータ
 - PK-III 312・313・342
- ④集中監視盤
 - KTK-60B₂～3000B₂
- ⑤戸外ブザー
 - KTS-61
- ⑥しゃ断弁コントローラ
 - VAC-200P・201P・210P・211P
 - 300P・310P

付 属 品



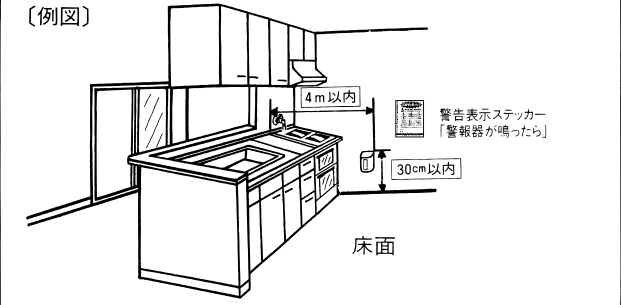
オプション



11 取付位置 (取付位置の選定は販売店におまかせください)

注意

- ①LPガス(プロパンガス)は空気より重く、下の方にたまりますので、床面から警報器の上面まで30cm以内の高さに取付けてください。
- ②ガスもれを検知したい部屋の中で最も遠いところのガス器具やガス栓(元栓)より水平距離で4 m以内の場所に取付けてください。



注意

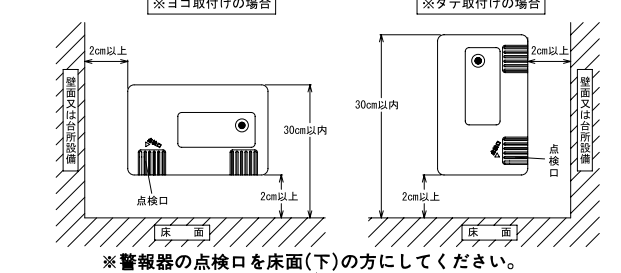
③警報器は次のようなところに取付けないでください。警報しない原因や、故障の原因になります。

- 1 ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
- 2 浴室内や水のかかる場所や、水滴のつくところ
- 3 カーテンウォール等で仕切られるところ
- 4 振動、衝撃のはげしいところ
- 5 電源がON/OFFされるところ
(例：ヒルなどの湯沸室で、夜間電源を切るころ)
- 6 温度が-10℃以下、または、40℃以上になるころ
- 7 台所設備等でさざぎられるところ
- 8 台所で水や煮汁、油がかかるころ

12 取付方法 (取付けは販売店におまかせください)

この警報器は、取付場所に応じてタテ、ヨコどちらでも取付けられます。

- ①①取付位置の①～③をよくお読みのうえ床面及び壁面又は台所設備から下図の距離に取付けできる場所を選定してください。



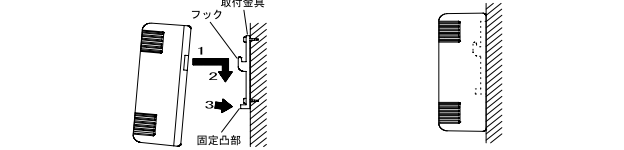
※警報器の点検口を床面(下)の方にしてください。

- ②既存の取付金具を使用する場合
取付金具が腐食していないか、ネジにゆるみなどがないか確認してください。
- ③オプションの取付金具を使用する場合
(1)取付場所の壁面の材質、強度及び交流100Vのコンセント位置を確認してください。
※壁面の材質がタイル、コンクリートなどの場合には、別売のカーブラグが必要です。
※JIS C 8340の1ヶ用スイッチボックスに取付ける場合には、別売の専用取付板「KTK-14」が必要です。

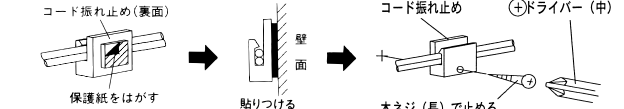
- (2)取付金具を同梱の木ネジ(短：2本)で壁面に確実に取付けてください。
※取付工具は④ドライバー(中)をご使用ください。

禁止	取付金具は両面テープで取付けないでください。 (落下防止のため)
禁止	警報器を床に置かないでください。 (水等がかかった場合、故障の原因となります)

- ④警報器の裏面にある取付金具引掛け部を取付金具のフックに合わせ下方に押し下げ、さらに取付金具下部の固定凸部に警報器を押しつけて外れないことを確認してください。



- ⑤オプションのコード振れ止めを使用する場合
電源コードを固定する場合は、オプションのコード振れ止めを使用してください。電源コードをコード振れ止めにはめ込み裏面の保護紙をはがして壁面に仮止めし、同梱の木ネジ(長)で固定してください。



- ⑥警報器の裏面にある取付金具引掛け部を取付金具のフックに合わせ下方に押し下げ、さらに取付金具下部の固定凸部に警報器を押しつけて外れないことを確認してください。

電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

注意

ステップルまたは、釘などは使用しないでください。
(電気設備技術基準で禁止されています)

13 外部機器との接続方法

この警報器の外部出力には、フォトカブラ・オープンコレクタ出力と有電圧出力があり同時に使用することができます。フォトカブラ・オープンコレクタ出力はマイコンメータと接続することにより、警報器の警報ブザーが連続して約40秒間鳴るとON信号を出力し、マイコンメータでガスをしゃ断します。有電圧出力は戸外ブザー・集中監視盤・しゃ断弁コントローラ・ACUシステムなどに接続することができ、警報器の警報ブザーが鳴ると同時に信号(6 V→12V)を出力します。

これらの外部出力を利用できる外部機器は、①接続できる外部機器(型式)を参照してください。また、ご利用にならなくても警報器単体で使用できます。

危険

雷が発生しているときは、結線工事をしないでください。(感電する恐れがあります)

注意

- ①有電圧出力をマイコンメータの「ケイホウ」端子に直接接続しないでください。マイコンメータの「ケイホウ」は無電圧入力となっており、マイコンメータによっては遮断することがあります。
- ②ACUシステムに接続する場合、付属の短絡板で警報器の共通線端子(FG)と有電圧出力の○端子を接続してください。
- ③共通線端子(FG)は、システムにより使用方法が異なりますので、ガス事業者と充分打合せのうえ、使用してください。
- ④共通線端子(FG)はアース接地用端子ではありません。
- 禁止 大地接地はしないでください。
- ⑤外部出力端子には極性(+、-)がありますので、注意して確実に接続してください。
- ⑥端子ネジの締めすぎに注意してください。
- ⑦別の種類の端子ネジは使用しないでください。

15 簡易点検 (電源投入後、初期鳴動防止時間(約40秒)終了時から約3分間だけの機能です)

点検ガスを検知してから各警報動作までの時間(遅延時間)が短くなるため、点検が容易になります。

- ①初期鳴動防止時間約40秒後表示ランプ(赤)が点滅から点灯に変わった後、約3分間は簡易点検になります。
付属の点検ガスを警報器の点検口に吹きつけてください。

- ②表示ランプ(赤)が点滅に変わり、点滅が10秒以上続くと警報ブザーが5秒間鳴ります。ブザーが鳴ったら吹きつけを終了してください。

- ③警報器が戸外ブザー・集中監視盤・しゃ断弁コントローラ・ACUシステムなどに接続されている場合、警報ブザーが鳴ると同時に信号(6V→12V)を1分間出力します。
(有電圧出力)
※集中監視盤・ACUシステムなどに接続されている場合、ガス事業者まで情報が入りますのでご注意ください。

- ④マイコンメータと接続されている場合、警報ブザーと同時に、マイコンメータへしゃ断信号を出力します。(しゃ断信号は、約1分間出力されます。その間は復帰操作を行いますが、復帰いたしません)

※接続されているマイコンガスメータが集中監視を行っている場合、しゃ断の確認を行うとガス事業者までしゃ断の情報が入りますのでご注意ください。

約3分の簡易点検時間をオーバーすると、通常の点検方法になります。



16 保証書・警告表示ステッカーへ貴店名の記入

販売店の方は、次の事項を必ず行ってください。

- ①「取扱説明書・保証書」の所定の欄に貴店の名称・所在地・郵便番号・電話番号をはっきりと記入してください。
- ②「警告表示ステッカー「警報器が鳴ったら」」の所定の欄に貴店の名称と電話番号をはっきりと記入してください。

※警告表示ステッカー「警報器が鳴ったら」の見本は、②B：ご使用上の注意事項(4頁)または⑩仕様・付属品(12頁)を参照してください。

17 お客様への説明

販売店の方は、お客様に次の事項を説明のうえ、ご理解を得てください。

- ①この説明書をよくお読みのうえ、正しく使用していただくこと。
- ②この説明書には、保証書が付いているので、大切に保管していただくこと。
- ③添え付けの「警告表示ステッカー「警報器が鳴ったら」」をよくお読みのうえ、目につく場所に忘れずに貼っていただくこと。
- ④マイコンメータ等の外部機器と接続した場合の動作説明をしていただくこと。

18 保管及び廃棄について

販売店の方は、次の事項を必ず行ってください。

- ①保管について
- ・室温-10～+40℃で湿気の少ないところ。
 - ・直接、日光の当たらないところ。
 - ・保管期間は6ヶ月以内としてください。
- ②廃棄について
- ・産業廃棄物として処理してください。

製品サポートセンター連絡先

この警報器について、お気付きの点や不明の点がありましたらお買求めの販売店または、製品サポートセンターまでご連絡ください。

azbil アズビル金門株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビルディング6階
URL: <https://ak.azbil.com>

製品に関するお問い合わせ

製品サポートセンター ☎0800-222-3322
受付時間：10:00～12:00 13:00～17:00
(土曜、日曜、祝日、および年末年始、春季、夏季の弊社休業日を除く)

本社事務所	03-6258-5343	千葉営業所	043-307-1477
北海道支店	011-783-0505	神奈川営業所	046-233-1725
釧路営業所	0154-24-3111	静岡営業所	054-254-2055
東北支店	022-227-1535	名古屋支店	052-212-8083
北東北営業所	019-625-2094	北陸営業所	076-232-5610
福島営業所	024-545-3411	大阪支店	06-4308-8508
青森営業所	017-742-4379	中四国支店	082-263-1971
秋田営業所	018-896-5980	岡山営業所	086-241-8511
北関東支店	0277-46-2271	四国営業所	087-861-2330
新潟営業所	025-285-5131	九州支店	092-633-2811
長野営業所	026-295-2001	鹿児島営業所	099-214-4610
東京支社	03-6258-5321	沖縄営業所	098-867-4855
さいたま営業所	03-5961-2860		

※保証適用除外
この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。

- (1)使用者の故意または、不注意によって生じた故障または損傷
- (2)火災、天災、異常電圧、異常温度、異常雰囲気等の不可抗力による故障または損傷
- (3)屋外、高温多湿等著しく不適当な場所および浴室に取付けた場合
- (4)液化石油ガス以外のガス、水や煮こぼれ、油等の液体、動植物による故障または損傷
- (5)その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷
- (6)本書の提示がない場合 ただし、本書は日本国内のみ有効です
- (7)本書に、販売店名の記入のない場合
- (8)その他製造業者の責任によらない汚損、故障または損傷
- (9)高圧ガス保安法に基づいて設置された警報器の場合

※お願い
(1)警報器の動作確認は、付属の点検ガスで点検してください。
(2)本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
(3)交換期限を過ぎたものは保証いたしません。警報器は安全を守るためのものですので、必ず新しいものとお取り替えください。

この保証書は、お客様の民法又は商法上の権利を制限するものではありません。また、警報器についてご不明の場合は、お求めの販売店、または発売元にお問い合わせください。

お客様	お名前 〒□□□-□□□□
	ご住所
	電 話

KTS-P140B